

## 会議録

会議の名称	下水道審議会 第8回会議
開催日時	平成18年12月13日 午後2時00分から午後2時28分まで
開催場所	防災センター6階 講座室
出席者	<p>坂口光治 西東京市長</p> <p>【委員】 小館会長、浦田副会長、井上委員、伊村委員、海老沢委員、梶谷委員 久野委員、小林委員、本田委員、水井委員</p> <p>【事務局】 高根都市整備部長、本橋下水道課長、鈴木課長補佐、秋山副主幹 伊田主任、小林主任</p>
議題	<p>1 第7回会議録について</p> <p>2 答申（案）の最終確認について</p> <p>3 市長へ答申</p>
会議資料の名称	
記録方法	全文記録 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録
会議内容	

発言者名：  
発言内容

小館会長（開会）  
第 8 回西東京市下水道審議会を開催します。

事務局（本橋課長）  
本日の審議会は定足数に達していることを報告します。  
《議題に入る前に、本日の進め方について説明》

### 1. 第 7 回会議録について

《各委員とともに第 7 回会議録の内容確認を行い、一部を訂正して承認する。》

### 2. 答申（案）の最終確認について

小館会長  
事務局から説明をお願いします。

事務局（本橋課長）  
事前に送付した答申（案）を修正した箇所について説明します。  
まず、久野委員から、料金を改定した場合の変化、影響をわかりやすくするため、一般家庭などの料金変化を参考データとして入れてはどうかという意見がありました。  
次に、小林委員から、料金を 10%引き上げた場合と、引き上げなかった場合の回収率や一般会計からの繰入額がどのようになるか、具体的な数値を示す必要があるのでは、といった意見もありました。  
これらの意見については、会長と協議の上、調整を図り、引き上げた場合の影響について、簡単な文言表記により説明を加え、本日席上配布した最終答申案に反映させました。

小館会長  
それでは、これを答申書として市長に提出することで、よろしいでしょうか。  
（「異議なし」の声あり）

小館会長  
どうもありがとうございました。  
それでは、暫時休憩します。

午後 2 時 10 分 休憩  
午後 2 時 20 分 再開

### 3. 市長へ答申

事務局（本橋課長）  
それでは、西東京市下水道審議会の小館会長より、坂口市長へ答申をお願いします。

〔会長、市長へ答申書を手交〕

坂口市長

ただいま、小館会長様より、諮問に対する答申をいただきましてありがとうございます。会長、副会長を初め、委員の皆様方、8回にわたる慎重なる審議や検討をしていただいたということで、心からお礼を申し上げます。

西東京市は、合併して、今年で6年目を迎えています。人口も、合併当初の18万人余りから19万2,000人と、多摩地域でも5番目に人口の多い市になりつつあります。

そのような中、先般市民祭り等が行われました「いこいの森公園」の整備ですとか、ワンコイン、100円で乗車できるコミュニティバス、愛称「はなバス」の運行など、市民の皆様へ合併効果を実感できる事業に取り組み、進めてきているところです。

しかしながら、平成16年度に入りますと、長引く景気低迷や国の三位一体の改革の影響などによりまして、多額の財源不足が生じてきているのも事実です。市の貯金に当たる基金の残高は減少傾向となり、借金に当たる市債の残高は増加していくといった厳しい財政状況が余儀なくされています。

本市の下水道料金は、平成15年10月に旧田無市の低い料金で統一しスタートしたこと、また大口使用者の減収などが原因となり、収入の逡減傾向が続き、下水道事業を運営していくためには一般会計からの繰入金に引き続き依存せざるを得ない状況となっています。一般会計から24億円余を（基準外に）繰出しているのが実態でございます。

一方では、一般会計から下水道事業に対して、これまでどおり多額なお金、繰出金を支払い続けることは難しい情勢となっています。また、御審議の中でも下水道に対して、それだけお金を使うのだったら、例えば教育、福祉、都市基盤整備など、ほかにもっと使った方がいいところがあるのではないかと、そういう議論もあったように承知しています。

このため、市全体で取り組んでいます西東京市地域経営戦略プランの実施項目に位置づけた「下水道使用料の適正化」について委員の皆様へ検討をいただき、御意見、御指摘をいただけるよう諮問を申し上げたところでございます。

5月から本日の審議会まで8回にわたる審議をいただき、下水道に関する基本的な事項を御理解いただくとともに、下水道事業の経営状況や市財政とのかかわり、さらには独立採算制を基本原則とする下水道経営のあり方、特に諮問事項である下水道使用料の適正化については、各委員の皆様が公平、公正な市民として、あるいはそれぞれの経験や知識を生かした視点で、いろいろ御意見をいただいたと承知しています。また、活発な議論が交わされ、本日の答申に至ったものと聞いております。

改めて、委員の皆様へ重ねてお礼を申し上げたいと思います。

最後になりますが、今回いただいた答申が、今後本市の下水道事業の経営改善、健全化につながるのみならず、西東京市のこれからの持続可能な発展に役立てるよう、私どもとしても最大限、努力をしてまいりたいと考えております。

審議会委員として御苦勞をいただきまして本当にありがとうございました。

19万2,000市民を代表いたしましてお礼を申し上げる次第でございます。

事務局（本橋課長）

これで、当審議会を閉会したいと思います。

小館会長（閉会の挨拶）

実質的な審議時間が十分かどうか、気になりましたが、皆さんの御協力、活発な御意見をいただきまして、本当にありがとうございました。

ではこれで閉会いたします。御苦勞様でした。

午後2時28分 閉会

